

開講科目名 / Course	看護アセスメント演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	藤内 美保	
担当教員名 / Instructor	石田 佳代子、藤内 美保、山田 貴子、内倉 佑介	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	看護アセスメント概論で学んだ看護過程の一連のプロセスを理解し、その基礎理論の知識を深めるために、事例展開を行うことで、実践に活用するための方法を学ぶ。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護過程の意義や目的を説明できる。 2. 対象理解のための系統的な情報収集・整理、根拠に基づいたアセスメントができる。 3. 対象の身体・心理・社会的側面を統合した全体像が描け、健康問題を明確に記述し優先度の決定ができる。 4. 対象に応じた目標設定、アセスメントに基づいた計画を立案し記述することができる。 5. 看護計画、実施、評価について、事例展開により知識を活用し記述することができる。 6. 看護過程の評価の観点を説明できる。 7. グループワークに積極的に参加し、課題についてわかりやすく説明することができる。 	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 事例による演習オリエンテーション 02. グループワークによる事例演習(1)アセスメント(情報収集、情報の整理) 03. グループワークによる事例演習(2)アセスメント(問題の予測、原因、メカニズム等) 04. グループワークによる事例演習(3)病態関連図の作成 05. グループワークによる事例演習(4)全体関連図の作成 06. グループワークによる事例演習(5)事例別ディスカッション 07. 中間発表会(1) 08. 中間発表会(2)・ディスカッション・講評 09. グループワークによる事例演習(1)アセスメントの修正 10. グループワークによる事例演習(2)看護診断の修正 11. グループワークによる事例演習(3)病態関連図の修正 12. グループワークによる事例演習(4)全体関連図の修正 13. グループワークによる事例演習(5)計画立案、評価 14. 最終発表会(1)・ディスカッション 15. 最終発表会(2)・ディスカッション・講評 	
その他の授業の工夫	事例による看護過程の展開をグループで行い、グループワークや発表会によるディスカッションを通して、思考を整理したり、多角的な視方、考え方を身に付け、さらに表現力を高める。	
時間外学修	中間発表会、最終発表会の課題を達成するように、時間外学修も含めて計画的に進める。	
評価方法と評価割合	原則100%出席し、グループ討議することを評価の前提とする。 演習記録(80%)、発表内容(20%)。	
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[2](医学書院) NANDA-I看護診断定義と分類2018-2020(医学書院) 看護診断を導く情報収集・アセスメント 第6版(学研)	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	藤内美保：病院の看護師 石田佳代子：病院の看護師 山田貴子：病院の看護師 内倉佑介：病院の看護師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	看護の経験を通して、エビデンスに基づき、臨床現場と理論を結び付けて教授する。	